

脱原発と自然エネルギー普及・省エネが地域経済をつくる。

5月26日、環境エネルギー政策研究所ISEP 飯田哲也所長を招き、シンポジウムを開催！
→インターネット動画で配信中です。

飯田哲也氏 講演要旨

- ▶原発は不良債権。EU諸国では「脱原発こそが経済成長策」が常識。
- ▶ドイツの電力は原子力の発電量を再生可能エネルギーの発電量が追い抜いた。
- ▶地域がオーナーシップをとる「コミュニティパワー」こそ地域経済を創る。
- ▶バイオマスは熱利用が鍵。バイオマス日本戦略はほぼ失敗。自治体からモデルをつくる必要性がある。

6月予算特別委員会

「住宅にも車の燃費と同様の燃費制度がある」 EUの常識、エネルギーパス制度の導入を提案！

- ▶石油利用で海外流出するお金を地域に還流するには、省エネと、地域のエネルギー利活用が重要。「省エネ」改修、新築でも地域の工務店が省エネに取り組む成果が正当に評価されるよう、長野県でも採用された、ドイツ発の住宅の燃費の指標「エネルギーパス」制度の導入を提案。
- ▶「エネルギー自立地域」こそ地域目標にすべきではないか？
- ▶再生可能エネ普及に「コミュニティパワー」を優遇して地域振興を
- ▶バイオマス「里山資本主義」で紹介された岡山県 真庭市を視察。
- ▶櫛引地域に建設予定のバイオマス発電所へ、熱利用と採算性の検証を求めています。



飯田さんの県内初の講演会でした



真庭市役所のペレット／チップボイラ

「観光」→「感幸」の山形・庄内へ

今年はDC(デスティネーションキャンペーン)山形日和
10年ぶり6回目の開催。期間:6月14日から9月13日まで

- デスティネーションキャンペーンとは、JRが企画する観光キャンペーンです。
2013年は、プレキャンペーンを開催し、庄内では羽黒山五重塔のライトアップがおこなわれました。DCを通じ県観光政策を進化するべきと唱え、
- 鶴岡駅から加茂水族館(現在はタクシーで片道4,000円で苦情殺到)への二次交通方策を提案。●月山開山時8合目への混雑時のシャトルバス化の検討。●しな織りなど伝統工芸品の支援体制強化。●出羽三山のインバウンド対応の支援方策。などを提案しています。
- 今は光景を観る「観光」から、幸せを感じる「感幸」の時代。「感幸」とは、地域の「幸せ」を体感し、感性や知力、情緒を育み、人を元気にする営みです。
- 自然資源、伝統、食文化を総動員して鶴岡に住む私達自身の日常の幸せを磨き、「感幸」の庄内を発信しましょう。



毎年参加の松例祭が国無形文化財に！

反TPP! 山形の農業を守る!

情報がわからないまま、山形の農業が破壊されてはならない。断固反対を貫きNGOと連携して情報収集に努めています。

7月18、22日水害。ダム水道断水は対岸の火事ではない！地下水利用対応策を！

- ▶鶴岡では藤島川の堤防が崩れ豚舎が流され豚400頭が川に流されました。現地状況を調査。
- ▶朝日地域での地滑り。現地状況を調査。
- ▶大宝寺地区、大山地区など豪雨の度に浸水状況を調査。
- ▶水害ボランティア対応へのアドバイス(南陽市等)

水道問題

- ▶庄内南部広域水道でも豪雨で月山ダム湖も濁度700度(通常5程度)以上に濁り、3時間浄水場の浄水停止、その後少量の浄水運転の為、午後8時から約3時間の給水制限が起きました。天童のような8日間断水には至りませんでしたが、ダム水道の弱点が露呈した事件でした。
- ▶8月の庄内議員協議会で、庄内南部広域水道断水時の対応策として地下水水源の利活用を提言。そのためにも現在無秩序状態が続いている管内の企業等の地下水の揚水量の把握をするべきと提言しました。



その他の主な質問

- 萱葺き屋根の保存のために、職人を養成する事業ができるのか(8月文教公安委で質問)
- 2014年には、ユネスコESD世界会議がおこなわれる。ESD(持続可能な開発のための教育)の山形での普及を。
- 交通安全のデイライト(日中ライト点灯)運動を

県政報告と講演会 「にぎやか」代表 阪井 由佳子

富山型「共生デイサービス」といじめ、ひきこもりのない社会のために。

日時 3月8日(土)
13時30分開始

場所 出羽庄内国際村ホール

人口減少・少子高齢化する社会で、いじめ、ひきこもり、自死がない、希望ある共生型社会をつくるにはどうしたらいいのか。
今、全国的に広がっている、障害の有無に関係なく、赤ちゃんからお年寄りまで一緒にケアする富山型「共生型デイ」17年の実践をされている「にぎやか」代表 阪井由佳子さん、EQ(心の知能指数)を高める「社会性と情動」のプログラムの講師を招き、講演とシンポジウムをおこないます。

お名前・住所・電話・メールを記載してFAX又はメールにてお送り下さい

入場無料
当日入場も可能

メール申込は s.kusajima@gmail.com
Facebookでも受付可能
FAX申込は FAX 0235-26-0038
お問い合わせ TEL 0235-28-3338

山形県議会議員

草島進一議会報告

ホームページ <http://www.kusajima.org> メール s.kusajima@gmail.com

パドル vol.6

草島進一事務所

Tel 099-0837
山形県鶴岡市道田町21-29
TEL 0235-28-3338
FAX 0235-26-0038
2014年(平成26年)2月1日発行
山形県議会議員 草島 進一
議会報告 第6号

2014年。人も自然も共生する、持続可能な鶴岡・山形へ！



街頭議会報告会は続いています。新年 パル前にて

2014年。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
25年度は文教公安常任委員、子ども若者政策特別委員として県議3年目を活動して参りました。4月から1月までの報告を致します。

私は、鶴岡で年間1000人ずつ、県で9000人ずつ人口が減る社会、そして、少子高齢化、環境悪化、さらに3.11を踏まえて、如何に持続可能な社会を実現するかを念頭に活動をしてきました。誰もが個人を認め合い、支え合う「共生」の社会づくりは、その大きな柱です。

国の政治は、参議院選挙で自民党が勝利し、アベノミクスの安倍政権の安定政権といわれますが、年末の特定秘密保護法の強行採決は、私達の憲法で規定されている「知る権利」を奪いかねない大変な暴挙であり、国際的にみれば情報公開後進国我が国にとり、更に「行政、官僚の秘密主義」が横行する懸念があります。「特定秘密保護法」には



福島でのアリバイ公聴会前でのデモ

赤ちゃんからお年寄りまで障害の有無を問わず、誰もが一緒に地域で受けれる「共生」型デイサービス普及を！



民家改造の長野県の宅幼老所

少子高齢化の問題。今後は更に高齢化が進むことが予想されます。

既存の大規模施設型の福祉施設よりも空き屋や空き店舗を活用した地域密着の「共生型」施設に早くから着目し、長野県「宅幼老所」、富山県「富山型デイ」の現場を視察。昨年20年の歴史がある「富山型デイ」の全国フォーラムに参加。

「障害の種別や年齢を超えて一つの事業所でサービスを提供する」現場と高齢者、児童、障害者福祉の縦割り行政の壁を打ち破った柔軟な補助金の仕組みをあわせ、「富山型」と呼ばれています。

家庭的な雰囲気で、お年寄りと子ども、障害者と子どもが一緒に過ごすことで生活上の相乗効果があるとされています。私も実際に認知症の方が子どもと交流する事で症状が改善したり、障害者の就労、ひきこもりの相談や中間的就労の場として活躍している実態を見て感動しました。富山県では現在94件。今後10年で小学校単位に約200件の普及を目指している事。全国では1427件、又、東日本大震災後の被災地でも国が推奨し普及はじめています。

現在県内では7件の共生型デイサービスがありますが、制度の柔軟運用の点や人材育成などで課題があり、政策として普及させていきたいと決意しました。

10月に所属する「子ども若者政策特別委員会」で質問し提言しました。
現在、委員会としての政策提言書に盛り込まれています。



「このゆびとまれ」の惣万さん、西村さんと鶴岡市社協の皆さんと地域共生ホーム 全国セミナーにて

「共生」型デイサービス



いつでも、誰でも受け入れ可能

家族のように過ごせる第二の我が家

近所の家に遊びに行く感覚